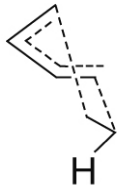



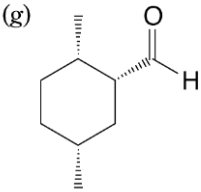
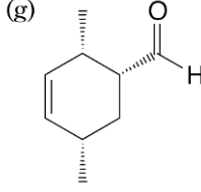


頁, 行	誤	正
p.285 ↓6~7	(特に立体障害のないもの)	(特に立体障害のあるもの)
p.314 ↑2	かなり酸性が強い (3.8A 項).	かなり酸性が強い (3.7A 項).
p.320 ↑10	大きい理由は 3.8A 項で	大きい理由は 3.7A 項で
p.449 ↑2~1	攻撃する求核剤がアルコキシドイオンや水酸化物イオンのような強い塩基であれば, エポキシドでは開環が可能である.	攻撃する求核剤 (塩基でもある) がアルコキシドイオンや水酸化物イオンのように強い塩基の場合には, エポキシドの開環が可能であり, 塩基は最後に再生される.
p.450 反応機構	直接 S_N2 反応で開環することができる.	直接 S_N2 反応で開環ことができ, 最後に再生される.
p.534 図 12.7 (a) (b) 右上 (共に)		
p.541 12.22 (g)		
p.541 12.23 (g)		
p.556 ↓8~9	の非局在化した電子をもつ平面単環式化合物	の非局在化した π 電子をもつ平面単環式化合物
後ろ見返し 右		84 Po, 85 At, 116 Lv, 117 Ts のバックを黄緑色にする